

岩崎小弥太 **財閥(三菱)を完成させ、(東京フィル){成蹊学園}創設にも貢献、<敗戦>後の財閥解体指令直後に没した。**

いわさきこやた

琉球処分・1879 = 生。岩崎弥太郎の弟弥之助の長男，母は後藤象二郎の長女早苗。

明治14年政変1881 = 2歳：

内閣発足・1885 = 6歳：学習院予備科に入学。この年，弥太郎が死去。

初の対等条約1888 = **9歳**：

帝国憲法発布1889 = 10歳：東京高等師範付属小学校へ転校。

足尾鉞毒始・1891 = 12歳：同中等科に進学。

日清戦争始・1894 = 15歳：

白馬会・1896 = 17歳：同校を卒業。第一高等学校に入学。父が第4代日銀総裁となる。

八幡製鉄始・1897 = **18歳**：

Bushidou・1899 = 20歳：同校を卒業。東京帝国大学法科大学に入学。

ビア/国産化・1900 = 21歳：中退して，イギリスに向け出発。

教科書疑獄・1902 = 23歳：ケンブリッジ大学ペンブローク・カレッジに入学。

日露戦争終・1905 = 26歳：ケンブリッジ大を卒業。

満鉄発足・1906 = **27歳**：帰国して，***三菱合資会社の副社長に就任。**

韓国反日暴動1907 = 28歳：島津孝子と結婚。この年弟が旭硝子を創業。

アヲヲ 創刊・1908 = 29歳：父が没し，男爵を襲爵，正五位に叙せられる。

大隈重信とともに東京フィルハーモニック・ソサエターを創立し，

韓国併合・1910 = 31歳：第1回演奏会が開かれた。

明治天皇没・1912 = 33歳：_**私立成蹊実務学校を設立。**

21ヶ条要求・1915 = **36歳**：

民本主義・1916 = 37歳：***弥太郎の長男久弥をついで三菱合資の第4代社長になる。**

ロシア革命・1917 = 38歳：_**直後に起きた大阪工場の爆発事故を的確に処理して，存在を確立し，**

メ 財閥条約・1919 = 40歳：三菱合資銀行部を独立させて三菱銀行を設立。財団法人成蹊学園理事長に就任。

造船，商事，鉱業，銀行などの分系会社を独立させ，製鋼，航空機，電機，石油，化学などの新会社を設立，重工業を発展させる。

原敬首相暗殺1921 = 42歳：

関東大震災・1923 = 44歳：復旧のため高額の寄附をする。工事中だった丸ビルが震災に耐えて完成。俳句同人「ホトトギス」も入居，これが縁で高浜虚子に入門し，俳句をつくるようになった。

護憲三派圧勝1924 = **45歳**：_**静嘉堂の新文庫を多摩川砧村に建設。**

治安維持法・1925 = 46歳：_**私立成蹊高等学校を設立。**

共産党事件・1928 = 49歳：勲二等瑞宝章授与。

世界恐慌・1929 = 50歳：母が死去。重い病に陥る。

海軍軍縮条約1930 = 51歳：弟が死去。

満州事変・1931 = 52歳：姉が死去。病气から回復し，社務に復帰。

シベリア，カムチャツカ，中国，南洋などへの海外進出を強め，30年代からは軍需工業を拡大。

国際連盟脱退1933 = **54歳**：***定年退職を希望していたが，時代が許さず社長を続け，**

帝人疑獄事件1934 = 55歳：三菱重工業が創業。

芥川直木賞始1935 = 56歳：養女を林忠雄に嫁がせる。

二二六事件・1936 = 57歳：第1句集「巨陶集」刊行。

日中戦争始・1937 = 58歳：_**三菱合資会社を改組，株式会社三菱社として，社長に就任。**

大政翼賛会・1940 = 61歳：_**財団法人三菱養和会を設立。同静嘉堂を設立して文庫を充実させた。**

日米開戦・1941 = 62歳：

・・・・・・1942 = **63歳**：正三位に叙せられる。

創価学会検挙1943 = 64歳：株式会社三菱社を株式会社三菱本社と改称。林夫妻を養子にする。

年金+総武装 1944 = 65歳：「随時随題」を印刷配付。第2句集「早梅」刊行。

敗戦・・・・1945 = 66歳：***発病入院し，一切の公職を辞す。財閥解体の指令直後に没した。まさに象徴的な死であった。**
三菱経済研究所も創立している。